

(2) 予察情報－3 月報

4 月月報(平成30年5月18日)

1 作物生育概況

(1) 野菜類

果菜類 : 促成、半促成のトマトや促成イチゴの生育はおおむね順調で早まる傾向であった。果菜類の苗もおおむね順調で、定植が始まっている。5月出荷のエダマメは乾燥により草丈が短いものが見られた。スイートコーンはおおむね順調な生育であった。

葉根菜類 : コマツナ、ノラボウの生育は早まる傾向であった。キャベツの生育はおおむね順調であった。

イモ類 : ジャガイモの生育はおおむね順調であった。

(2) 果樹

農総研の果樹圃場(灰色低地土)におけるナシ主要品種の開花期と平年差(カッコ内)は以下のとおり。

全ての品種で、開花始及び盛は6～10日早くなった。

新高 : 開花始 3月31日(－6日)、開花盛 4月3日(－7日)

稲城 : 開花始 3月31日(－7日)、開花盛 4月3日(－8日)

幸水 : 開花始 4月3日(－9日)、開花盛 4月6日(－10日)

豊水 : 開花始 4月3日(－8日)、開花盛 4月4日(－10日)

(3) 茶樹

2月の降水量が平年の3分の1程度であったが3月には平年の2倍の降水量となった。一方、4月の降水量はおよそ平年の2分の1で、総合して摘採期は平年並みと予想されたが、3～4月の温度が比較的高く、一番茶摘採期は早生品種を中心に早まり、4月下旬から開始された。霜害もほとんどなかったため、生葉収穫量については平年並みの見込みである。

2 病害虫の発生概況

(1) 果樹の病害虫

ナシ

赤星病 <やや少> 発生はやや少なかった。

アブラムシ類 <少> 発生は少なかった。

ハマキムシ類 <やや少> 発生はやや少なかった。

果樹共通

チャバネアオカメムシ <発生時期：並 発生量：やや少>

昨年のスギ・ヒノキ球果量はやや少と推定されることから、越冬成虫の数はやや少ないと思われる。

(2) 茶樹の病害虫

カンザワハダニ < 少 > 発生は少なかった。

(3) 野菜の病害虫

トマト (施設)

モザイク病 < 少 > 発生は少なかった。

灰色かび病 < 少 > 発生は少なかった。

葉かび病 < 少 > 発生は少なかった。

オンシツコナジラミ < やや少 > 発生はやや少なかった。

タバココナジラミ < 少 > 発生は少なかった。

アブラムシ類 < 少 > 発生は少なかった。

アザミウマ類 < 少 > 発生は少なかった。

コマツナ (施設)

コナガ < 少 > 発生は少なかった。

ハモグリバエ類 < 少 > 発生は少なかった。

ヤサイゾウムシ < 少 > 発生は少なかった。

コマツナ (露地)

白さび病 < 少 > 発生は少なかった。

コナガ < 少 > 発生は少なかった。

ホウレンソウ

べと病 < 少 > 発生は少なかった。

ケナガコナダニ < 少 > 発生は少なかった。

アブラムシ類 < 少 > 発生は少なかった。

イチゴ (施設)

灰色かび病 < 少 > 発生は少なかった。

うどんこ病 < 少 > 発生は少なかった。

アブラムシ類 < 少 > 発生は少なかった。

ハダニ類 < 少 > 発生は少なかった。

チャノホコリダニ < 少 > 発生は少なかった。

ネギ

さび病 < 少 > 発生は少なかった。

アブラムシ類 < 少 > 発生は少なかった。

アザミウマ類 < 並 > 発生は平年並であった。

ネギハモグリバエ < 少 > 発生は少なかった。

ネギコガ < 少 > 発生は少なかった。

キャベツ

菌核病 < 少 > 発生は少なかった。

コナガ < 少 > 発生は少なかった。

アブラムシ類 < 多 > 発生は多かった。

野菜共通の病害虫

トビムシ類 < 少 > 発生は少なかった。

クローバーハダニ < 少 > 発生は少なかった。

(4) 花きの病害虫 (施設)

花き共通の病害虫

灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
コナジラミ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。

(5) 植木の病害虫

ケヤキのケヤキヒゲマダラアブラムシの発生は少なかった。

(6) 島しょの病害虫

小笠原：パッションフルーツでカイガラムシ類、トマトでマメハモグリバエの発生が多かった。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

3 ミバエ類等侵入警戒調査

設置場所	設置日	調査日	誘殺数	
			チチュウカイ ミバエ	ウリミバエ ミカンコミバエ
築地市場	4月13日	5月10日	0	0
大田市場	4月13日	5月10日	0	0
板橋市場	4月13日	5月10日	0	0
淀橋市場	4月13日	5月10日	0	0
北足立青果市場	4月13日	5月8日	0	0
青梅青果市場	4月13日	5月8日	0	0
八王子北野市場	4月13日	5月8日	0	0
多摩ニュータウン市場	4月13日	5月8日	0	0
国立市場	4月13日	5月8日	0	0
東久留米市場	4月13日	5月11日	0	0
備考：				

5 月月報(平成 30 年 6 月 25 日)

1 作物生育概況

(1) 野菜類

果菜類 : 施設トマト、露地果菜類の生育は順調で早まる傾向であった。スイートコーンはおおむね順調な生育であった。枝豆は草丈が低い傾向であった。

葉根菜類: コマツナ、キャベツ、ダイコンの生育は早まる傾向であった。タマネギの生育はおおむね順調であった。

イモ類 : ジャガイモの生育はおおむね順調であった。サトイモは乾燥のためか、草丈が低い傾向であった。

(2) 果樹

農総研の果樹圃場(灰色低地土)におけるカキ主要品種の開花期と平年差(カッコ内)は以下の通り。開花始期及び開花盛期ともに、7日~14日早かった。

平核無 : 開花始 5月7日(-7日)、開花盛 5月9日(-9日)

東京紅 : 開花始 5月7日(-12日)、開花盛 5月11日(-11日)

次郎 : 開花始 5月7日(-13日)、開花盛 5月9日(-14日)

松本早生 : 開花始 5月9日(-14日)、開花盛 5月11日(-14日)

(3) 茶樹

収穫開始は例年並だったが、4月の寒暖差が大きかったため、品種間差、立地条件により収穫期間が広がり5月下旬頃までかかった。生葉収穫量については晩霜害がなかったため畑により例年以上となった農家が多かった。

2 病害虫の発生概況

(1) 果樹の病害虫

ナシ

赤星病	< 並 >	発生は平年並であった。
黒星病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
カメムシ類	< 少 >	予察灯における誘殺数は平年並で、フェロモントラップにおける誘殺数は少なかった。
ナシヒメシンクイ	< 並 >	発生は平年並であった。

カキ

カキクダアザミウマ	< 並 >	発生は平年並であった。
-----------	-------	-------------

(2) 茶樹の病害虫

カンザワハダニ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノコカクモンハマキ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
チャハマキ	< 多 >	発生は多かった。
チャノホソガ	< 並 >	発生は平年並であった。

(3) 野菜の病害虫

ジャガイモ

疫病	< 少 >	発生は少なかった。
ニジュウヤホシテントウ類	< 少 >	発生は少なかった。

トマト (施設・半促成)

灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
葉かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
白ぶくれ症	< 少 >	発生は少なかった。
オンシツコナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
タバココナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

キュウリ

褐斑病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
べと病	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

ナス

アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ニジュウヤホシテントウ類	< 少 >	発生は少なかった。

コマツナ

白さび病	< 並 >	発生は平年並であった。
炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ナモグリバエ	< 少 >	発生は少なかった。
カブラハバチ	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。

ハウレンソウ

べと病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
-----	---------	-------------

イチゴ (施設)

灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。

ネギ

さび病	< やや多 >	発生はやや多かった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 多 >	発生は多かった。
ネギハモグリバエ	< 少 >	発生は少なかった。

キャベツ

菌核病	< 少 >	発生は少なかった。
黒腐病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ヨトウガ	< 少 >	発生は少なかった。
モンシロチョウ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

野菜共通の病害虫

ネキリムシ類 < 並 > 発生は平年並であった。
 アブラムシ類 < 並 > 発生は平年並であった。

(4) 花きの病害虫

花き共通の病害虫

灰色かび病 < 少 > 発生は少なかった。
 アブラムシ類 < 少 > 発生は少なかった。

(5) 植木の病害虫

ツバキ・サザンカ

チャドクガ < 少 > 発生は少なかった。

ケヤキ

ケヤキヒゲマダラアブラムシ < 少 > 発生は少なかった。

(6) 島しょの病害虫

八丈島：キキョウランでハスモンヨトウ、アシタバでハスモンヨトウとネキリムシ類の発生が多かった。

小笠原：マンゴーでカイガラムシ類とアザミウマ類、かんきつ類でミカンハモグリガ、トマトでマメハモグリバエ、ハイビスカス・オクラ・ナスでフタテンミドリヒメヨコバイの発生がやや多かった。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

3 ミバエ類等侵入警戒調査

設置場所	設置日	調査日	誘殺数	
			チチュウカイ ミバエ	ウリミバエ ミカンコミバエ
築地市場	5月10日	6月14日	0	0
大田市場	5月10日	6月14日	0	0
板橋市場	5月10日	6月14日	0	0
淀橋市場	5月10日	6月14日	0	0
北足立青果市場	5月10日	6月14日	0	0
青梅青果市場	5月8日	6月7日	0	0
八王子北野市場	5月8日	6月7日	0	0
多摩ニュータウン市場	5月8日	6月7日	0	0
国立市場	5月8日	6月7日	0	0
東久留米市場	5月11日	6月7日	0	0

6 月月報(平成 30 年 7 月 18 日)

1 作物生育概況

(1) イネ

6 月上中旬に植え付けが完了した。植え付け後の生育は順調であった。

(2) 野菜

果菜類 : 露地のトマト、キュウリ、ナスの生育は順調で早まる傾向であった。トマトは一部地域で日焼け、キュウリは乾燥の影響で曲がりが多い傾向であった。エダマメは草丈が低い傾向であった。スイートコーンはおおむね順調であった。

葉根菜類 : コマツナの生育はおおむね順調であった。タマネギは小さい傾向が見られた。

イモ類 : ジャガイモの生育はおおむね順調であった。サトイモは乾燥のためか、草丈が低い傾向であった。

(3) 果樹

農総研の果樹圃場(灰色低地土)におけるブドウ主要品種の開花期と平年差(カッコ内)は以下の通り。

安芸クイーン、高尾、巨峰すべてで、平年よりも早い開花始・盛であった(-9~-11日)。

巨峰 : 開花始 5 月 18 日(-10 日), 開花盛 5 月 21 日(-10 日)

安芸クイーン : 開花始 5 月 18 日(-9 日), 開花盛 5 月 21 日(-9 日)

高尾 : 開花始 5 月 16 日(-10 日), 開花盛 5 月 18 日(-11 日)

(4) 茶樹

平年より気温が高い日が多く乾燥が続いて、芽の伸長は例年より遅い。

2 病害虫の発生概況

(1) イネの病害虫

いもち病(苗)	< 少 >	発生は少なかった。
ばか苗病	< 少 >	発生は少なかった。
イネミズゾウムシ	< 少 >	発生は少なかった。
ツマグロヨコバイ	< 少 >	発生は少なかった。
ヒメトビウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
セジロウンカ	< 少 >	発生は少なかった。

(2) 果樹の病害虫

ナシ

黒星病	< 少 >	発生は少なかった。
黒斑病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 多 >	発生は多かった。
シンクイムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。

果樹共通

チャバネアオカメムシ	< やや少 >	予察灯及びフェロモントラップにおける誘殺数はやや少なかった。
クサギカメムシ	< 並 >	予察灯における誘殺数は平年並であった。

(3) 茶樹の病害虫

カンザワハダニ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノコカクモンハマキ	< 並 >	発生は平年並であった。
チャハマキ	< 並 >	発生は平年並であった。
ナガチャコガネ	< 少 >	発生は少なかった。

(4) 野菜の病害虫

ジャガイモ		
疫病	< 少 >	発生は少なかった。
トマト		
モザイク病	< 少 >	発生は少なかった。
灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
葉かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
疫病	< 少 >	発生は少なかった。
白ぶくれ症	< 並 >	発生は平年並であった。
オンシツコナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
タバココナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
オオタバコガ	< 少 >	発生は少なかった。
キュウリ		
うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
べと病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アザミウマ類	< 多 >	発生は多かった。
ナス		
アザミウマ類	< やや多 >	発生はやや多かった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
コマツナ		
白さび病	< 少 >	発生は少なかった。
炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
カブラハバチ	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
スイートコーン		
アワノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
ネギ		
べと病	< 少 >	発生は少なかった。
さび病	< 多 >	発生は多かった。
ネギアザミウマ	< 多 >	発生は多かった。
ネギハモグリバエ	< 少 >	発生は少なかった。

キャベツ

菌核病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
黒腐病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ヨトウガ	< 少 >	発生は少なかった。

(5) 花きの病害虫

花き共通の病害虫

灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
-------	-------	-----------

(6) 植木の病害虫

街路樹など

チャドクガ	< 少 >	発生は少なかった。
-------	-------	-----------

(7) 島しょの病害虫

三宅島：野菜類でハモグリバエ類、キキョウランでバッタ類の発生が多かった。

小笠原：父島のパッションフルーツでカイガラムシ類、トマトでマメハモグリバエ、母島のかんきつ類でミカンハモグリガの発生がやや多かった。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

3 ミバエ類等侵入警戒調査

設置場所	設置日	調査日	誘殺数	
			チチュウカイ ミバエ	ウリミバエ ミカンコミバエ
築地市場	6月14日	7月13日	0	0
大田市場	6月14日	7月13日	0	0
板橋市場	6月14日	7月13日	0	0
淀橋市場	6月14日	7月13日	0	0
北足立青果市場	6月14日	7月13日	0	0
青梅青果市場	6月7日	7月5日	0	0
八王子北野市場	6月7日	7月6日	0	0
多摩ニュータウン市場	6月7日	7月3日	0	0
国立市場	6月7日	7月6日	0	0
東久留米市場	6月7日	7月5日	0	0
備考：ウリミバエ・ミカンコミバエ用トラップおよびチチュウカイミバエ用トラップにおいて、北足立市場でそれぞれ1頭のミスジミバエ雄が誘殺された。				

7 月月報(平成 30 年 8 月 20 日)

1 作物生育概況

(1) イネ

生育は順調であった。

(2) 野菜類

果菜類 : 露地のキュウリは高温のため収穫終了が早まり、それぞれ高温・乾燥の影響が見られ、トマトでは日焼け果、キュウリでは曲がり・先細り、ナスではつやなし果などが散見された。スイートコーンは乾燥による果粒のしなびが見られた。

葉根菜類 : コマツナは高温の影響か芯の部分のみが枯れるものが見られた。ショウガは乾燥のため成長が止まっているものが多かった。ニンジン は 7 月 28 日の降雨後に播種が行われる圃場が多かった。

イモ類 : サトイモは下葉の枯れが見られ、草丈は例年より低い状況であった。

(3) 果樹

農総研の果樹圃場(灰色低地土)におけるナシ主要品種の生育状況は以下のとおり。

幸水 : 天候の影響で、肥大にムラが出ている。

(4) 茶樹

例年より梅雨明けがはやくその後も少雨だったため、1茶摘採後の新梢の伸びが例年より少なくなかった。

2 病虫害の発生概況

(1) イネの病虫害

いもち病(平野部)	< やや少 >	発生はやや少なかった。
いもち病(山間部)	< やや少 >	発生はやや少なかった。
紋枯病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ニカメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
イネツトムシ	< 少 >	発生は少なかった。
コブノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
ヒメトビウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
セジロウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
斑点米カメムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(2) 果樹の病虫害

ナシ

黒星病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
黒斑病	< 並 >	発生は平年並であった。
ハダニ類	< 並 >	発生は平年並であった。

果樹共通

チャバネアオカメムシ	< やや少 >	フェロモントラップの誘殺数は 少なかった。予察灯の誘殺数は やや少なかった。
クサギカメムシ	< 多 >	予察灯の誘殺数は多かった。

(3) 茶樹の病害虫

カンザワハダニ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノコカクモンハマキ	< 少 >	発生は少なかった。
チャハマキ	< 多 >	発生は多かった。
チャノホソガ	< 少 >	発生は少なかった。
ナガチャコガネ	< 少 >	発生は少なかった。

(4) 野菜の病害虫

トマト

モザイク病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
葉かび病	< 少 >	発生は少なかった。
白ぶくれ症	< やや少 >	発生はやや少なかった。
オンシツコナジラミ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
タバココナジラミ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
タバコガ類	< 少 >	発生は少なかった。

キュウリ

うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
べと病	< 並 >	発生は平年並であった。

ナス

うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
ニジュウヤホシテントウ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノホコリダニ	< 少 >	発生は少なかった。

コマツナ

白さび病	< 少 >	発生は少なかった。
炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
キスジノミハムシ	< 少 >	発生は少なかった。

ネギ

黒斑病	< 並 >	発生は平年並であった。
ネギアザミウマ	< 多 >	発生は多かった。
ネギハモグリバエ	< 少 >	発生は少なかった。

(5) 花きの病害虫

シクラメン

ホコリダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。

花き共通の病害虫

灰色かび病 < 少 > 発生は少なかった。
 アブラムシ類 < 少 > 発生は少なかった。
 ハダニ類 < 少 > 発生は少なかった。

(6) 植木の病害虫

街路樹など
 チャドクガ < やや少 > 発生はやや少なかった。

(7) 島しょの病害虫

三宅島：野菜類全般でアブラムシ類、トマトでトマトサビダニの発生が多かった。
 小笠原：父島のオクラでフタテンミドリヒメヨコバイの発生がやや多かった。
 その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

3 ミバエ類等侵入警戒調査

設置場所	設置日	調査日	誘殺数	
			チチュウカイ ミバエ	ウリミバエ ミカンコミバエ
築地市場	7月13日	8月9日	0	0
大田市場	7月13日	8月9日	0	0
板橋市場	7月13日	8月9日	0	0
淀橋市場	7月13日	8月9日	0	0
北足立青果市場	7月13日	8月9日	0	0
青梅青果市場	7月5日	8月13日	0	0
八王子北野市場	7月6日	8月13日	0	0
多摩ニュータウン市場	7月3日	8月13日	0	0
国立市場	7月6日	8月10日	0	0
東久留米市場	7月5日	8月10日	0	0
備考：ウリミバエ・ミカンコミバエ用トラップにおいて、八王子北野市場及び青梅青果市場で、それぞれ1頭のミスジミバエ雄が誘殺された。				

8 月月報(平成 30 年 9 月 25 日)

1 作物生育概況

(1) イネ

生育は順調で、出穂は 4 日程度早い傾向であった。

(2) 野菜類

果菜類 : ナスはおおむね順調な生育であったが、一部地域ではつやなし果が多く見られた。
促成トマトの定植が行われたが、高温の影響で苗の葉焼けが見られた。

葉根菜類 : キャベツ・ブロッコリーの定植後の生育はおおむね順調であった。ニンジン
は乾燥による発芽の不揃いや、生育のバラツキ、豪雨による種子等の流亡が見られた。
施設のコマツナは高温による新葉の焼けが見られた。

イモ類 : サトイモは乾燥の影響により、草丈は例年より低い状況であった。

(3) 果樹

農総研果樹圃場(灰色低地土)における主要品種の収穫期と平年差(カッコ内)は以下のとおり。

ブドウ : 収穫始めは、'高尾'で 6 日早くなった。

'高尾' 収穫始 8 月 17 日 (-6 日)

ナシ : 収穫始めは、'幸水'と'稲城'で 2~3 日早く、'秀玉'で 12 日早くなった。

'幸水' 収穫始 8 月 13 日 (-3 日)

'稲城' 収穫始 8 月 22 日 (-2 日)

'秀玉' 収穫始 8 月 15 日 (-12 日)

(4) 茶樹

7 月から雨が少なく摘採・剪定後の新梢の伸長等生育への影響が懸念されたが、8 月の降雨により生育状況は回復傾向にある。

2 病害虫の発生概況

(1) イネの病害虫

いもち病	< 少 >	発生は少なかった。
紋枯病	< 並 >	発生は平年並であった。
ニカメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
イネツトムシ	< 少 >	発生は少なかった。
ツマグロヨコバイ	< 少 >	発生は少なかった。
ヒメトビウンカ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
セジロウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
トビイロウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
シンガレセンチュウ	< 少 >	発生は少なかった。
イネミズゾウムシ	< 少 >	発生は少なかった。
斑点米カメムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。

(2) 果樹の病害虫

ナシ

アブラムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。
ニセナシサビダニ	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

果樹共通

カメムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。
-------	-------	-------------

(3) 茶樹の病害虫

カンザワハダニ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノコカクモンハマキ	< 少 >	発生は少なかった。
チャハマキ	< 並 >	発生は平年並であった。
チャノホソガ	< 少 >	発生は少なかった。

(4) 野菜の病害虫

キュウリ

べと病	< 少 >	発生は少なかった。
うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。

ナス

うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ニジュウヤホシテントウ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノホコリダニ	< 少 >	発生は少なかった。

コマツナ

炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
キスジノミハムシ	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。

ネギ

黒斑病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ネギアザミウマ	< 多 >	発生は多かった。
ネギハモグリバエ	< 並 >	発生は平年並であった。

サツマイモ

イモキバガ	< 少 >	発生は少なかった。
ナカジロシタバ	< 少 >	発生は少なかった。

サトイモ

ワタアブラムシ	< 並 >	発生は平年並であった。
ハスモンヨトウ	< 少 >	発生は少なかった。
セスジスズメ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

野菜共通の病害虫

ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハスモンヨトウ	< 並 >	発生は平年並であった。
オオタバコガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
カブラヤガ	< やや多 >	発生はやや多かった。
ハイマダラノメイガ	< 多 >	発生は多かった。
カメムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。

(5) 花きの病害虫

シクラメン

チャノホコリダニ	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。

(6) 植木の病害虫

街路樹など

モンクロシャチホコ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
-----------	---------	-------------

(7) 島しょの病害虫

大島 : オクラ及びパプリカでワタノメイガの発生が多かった。また、ミノムシ類の発生が多かった。

八丈島 : オクラで葉すす病及びワタアブラムシの発生が多かった。

3 ミバエ類等侵入警戒調査

設置場所	設置日	調査日	誘殺数	
			チチュウカイ ミバエ	ウリミバエ ミカンコミバエ
築地市場	8月9日	9月11日	0	0
大田市場	8月9日	9月11日	0	0
板橋市場	8月9日	9月11日	0	0
淀橋市場	8月9日	9月11日	0	0
北足立青果市場	8月9日	9月11日	0	0
青梅青果市場	8月13日	9月7日	0	0
八王子北野市場	8月13日	9月7日	0	0
多摩ニュータウン市場	8月13日	9月7日	0	0
国立市場	8月10日	9月7日	0	0
東久留米市場	8月10日	9月4日	0	0
備考 : ウリミバエ・ミカンコミバエ用トラップにおいて、北足立青果市場で1頭、多摩ニュータウン市場で1頭、東久留米市場で2頭のミスジミバエ雄が誘殺された。				

9 月月報(平成 30 年 10 月 24 日)

1 作物生育概況

(1) イネ

生育は順調であり、中旬より収穫が始まった。一部、台風 24 号の影響で倒伏が見られた。

(2) 野菜

果菜類 : ナスの生育は順調であったが、台風 24 号の影響で枝葉が傷んだものが多く、栽培を終了する圃場が見られた。

葉根菜類 : ハクサイ、ダイコンの生育は順調であったが、台風 24 号の影響により葉の傷みが多く見られ、ハウレンソウでは種子や発芽直後のものが流される被害があった。また、ネギでは葉折れが多く見られた。

イモ類 : サトイモは台風 24 号の影響で葉の傷みが多かった。

(3) 果樹

農総研果樹圃場(灰色低地土)における主要品種の収穫期と平年差(カッコ内)は以下のとおり。

ブドウ : ‘巨峰’の収穫始めは5日早く、収穫終わりは5日遅かった。

‘巨峰’ 収穫始 8月 31日 (-5日)

収穫終 9月 25日 (+5日)

ナシ : 収穫終わりは、‘幸水’で4日遅く、‘豊水’‘稲城’で3~6日早かった。

‘幸水’ 収穫終 9月 4日 (+4日)

‘豊水’ 収穫終 9月 10日 (-6日)

‘稲城’ 収穫終 9月 6日 (-3日)

(4) 茶樹

降雨により生育は回復してきたが、害虫防除のため深刈りした畑では、枝の伸長、萌芽が少ない部分が見られる傾向があった。

2 病害虫の発生概況

(1) イネの病害虫

いもち病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
紋枯病	< 並 >	発生は平年並であった。
ニカメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
イネツトムシ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ツマグロヨコバイ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
セジロウンカ	< 並 >	発生は平年並であった。
トビイロウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
コブノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
斑点米カメムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

(2) 果樹の病害虫

ナシ

黒星病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
ナシヒメシクイ	< 多 >	発生は多かった。

果樹共通

カメムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。
-------	-------	-------------

(3) 茶樹の病害虫

炭疽病	< やや多 >	発生はやや多かった。
チャノコカクモンハマキ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
チャハマキ	< 少 >	発生は少なかった。
カンザワハダニ	< 少 >	発生は少なかった。

(4) 野菜の病害虫

トマト

黄化葉巻病	< 並 >	発生は平年並であった。
モザイク病	< 少 >	発生は少なかった。
オンシツコナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
タバココナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。

キュウリ (施設)

うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
褐斑病	< 並 >	発生は平年並であった。
べと病	< 並 >	発生は平年並であった。
ハスモンヨトウ	< 少 >	発生は少なかった。
トマトハモグリバエ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

ナス

うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
タバコガ類	< 少 >	発生は少なかった。
チャノホコリダニ	< 少 >	発生は少なかった。

キャベツ

黒腐病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 並 >	発生は平年並であった。
ヨトウムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
タバコガ類	< 少 >	発生は少なかった。
ネギアザミウマ	< 並 >	発生は平年並であった。

コマツナ

炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

ダイコン

軟腐病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

アブラナ科野菜共通

キスジノミハムシ	< 少 >	発生は少なかった。
ヨトウムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハイマダラノメイガ	< 並 >	発生は平年並であった。

ホウレンソウ

べと病	< 少 >	発生は少なかった。
シロオビノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。

ネギ

黒斑病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
さび病	< 少 >	発生は少なかった。
ネギアザミウマ	< やや多 >	発生はやや多かった。
ネギハモグリバエ	< やや多 >	発生はやや多かった。
ヨトウムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

ニンジン

うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
キアゲハ	< 少 >	発生は少なかった。

サツマイモ

イモキバガ	< 少 >	発生は少なかった。
ナカジロシタバ	< 少 >	発生は少なかった。
ハスモンヨトウ	< 少 >	発生は少なかった。

野菜共通の病害虫

ハモグリバエ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハスモンヨトウ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
タバコガ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
ネキリムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。
カメムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。

(5) 花きの病害虫

シクラメン

灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
ホコリダニ類	< 少 >	発生は少なかった。

(6) 植木の病害虫

庭木及び街路樹

チャドクガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
モンクロシャチホコ	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(7) 島しょの病害虫

多発生の病害虫は認められなかった。

3 ミバエ類等侵入警戒調査

設置場所	設置日	調査日	誘殺数	
			チチュウカイ ミバエ	ウリミバエ ミカンコミバエ
築地市場	-	-	-	-
大田市場	9月11日	10月11日	0	0
板橋市場	9月11日	10月11日	0	0
淀橋市場	9月11日	10月11日	0	0
北足立青果市場	9月11日	10月11日	0	0
青梅青果市場	9月7日	10月9日	0	0
八王子北野市場	9月7日	10月10日	0	0
多摩ニュータウン市場	9月7日	10月10日	0	0
国立市場	9月7日	10月9日	0	0
東久留米市場	9月4日	10月9日	0	0
備考：ウリミバエ・ミカンコミバエ用トラップにおいて、板橋市場で1頭のミスジミバエ雄が誘引された。 また、築地市場は閉場に伴い、調査を終了した。				

10月月報(平成30年11月27日)

1 作物生育概況

(1) イネ

中旬には収穫がおおむね終わった。作柄は平年よりやや良であった。

(2) 野菜

果菜類：施設の果菜類は概ね順調であった。ナスは台風第24号による茎葉被害で、多くの圃場が栽培を終了した。

葉根菜類：ホウレンソウ、ネギ、ブロッコリー、ハクサイ等では10月前半は台風の影響により生育が悪かったが、後半は天候が安定し生育が回復した。ニンジンも夏の乾燥の影響が見られ、生育が遅延した。

いも類：サトイモは全体的に、夏の乾燥により、草丈が低いものが多く見られた。

(3) 果樹

農総研果樹圃場(灰色低地土)における主要品種の収穫期と平年差(カッコ内)は以下のとおり。

カキ：収穫始めは、平年に比べて‘伊豆’で12日、‘早秋’で8日、‘甘秋’で3日、‘太秋’で21日早かった。

収穫終わりは‘伊豆’で平年並み、平年に比べて‘早秋’で5日、‘太秋’で19日早かった。‘甘秋’では3日遅かった。

‘伊豆’	収穫始	9月28日	(-12日)	収穫終	10月24日	(+1日)
‘早秋’	収穫始	9月25日	(-8日)	収穫終	10月9日	(-5日)
‘甘秋’	収穫始	10月11日	(-3日)	収穫終	10月31日	(+3日)
‘太秋’	収穫始	9月25日	(-21日)	収穫終	10月15日	(-19日)

ナシ：収穫終わりは‘新高’で平年より12日早かった。

‘新高’ 収穫終 9月28日 (-12日)

2 病害虫の発生概況

(1) 野菜の病害虫

トマト(施設・促成長期どり)

葉かび・すすかび病	< 少 >	発生は少なかった。
オンシツコナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
タバココナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
タバコガ類	< 少 >	発生は少なかった。

キュウリ（施設）		
うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
べと病	< 並 >	発生は平年並であった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
キャベツ・カリフラワー・ブロッコリー		
黒腐病	< やや多 >	発生はやや多かった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
オオタバコガ	< 少 >	発生は少なかった。
ヨトウガ類	< 少 >	発生は少なかった。
アオムシ	< 少 >	発生は少なかった。
ネギアザミウマ	< 並 >	発生は平年並であった。
コマツナ		
白さび病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
ダイコン・ハクサイ		
軟腐病	< 並 >	発生は平年並であった。
モザイク病	< 少 >	発生は少なかった。
ヤサイゾウムシ	< 少 >	発生は少なかった。
ハイマダラノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラナ科野菜共通		
キスジノミハムシ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハウレンソウ		
べと病	< 少 >	発生は少なかった。
シロオビノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハコベハナバエ	< 少 >	発生は少なかった。
ネギ		
黒斑病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
さび病	< 少 >	発生は少なかった。
ネギアザミウマ	< やや多 >	発生はやや多かった。
ネギハモグリバエ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
イチゴ		
うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハダニ	< 少 >	発生は少なかった。
野菜共通の病害虫		
ハスモンヨトウ	< 並 >	発生は平年並であった。
オオタバコガ	< 少 >	発生は少なかった。
ヤサイゾウムシ	< 少 >	発生は少なかった。
(2) 花きの病害虫		
シクラメン		
ホコリダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
花き共通		
灰色かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
タバコガ類	< 少 >	発生は少なかった。

(3) 島しょの病害虫

八丈島：アシタバでマイマイ類の発生が多かった

3 ミバエ類等侵入警戒調査

設置場所	設置日	調査日	誘殺数	
			チチュウカイ ミバエ	ウリミバエ ミカンコミバエ
築地市場	-	-	-	-
大田市場	10月11日	11月16日	0	0
板橋市場	10月11日	11月16日	0	0
淀橋市場	10月11日	11月16日	0	0
北足立青果市場	10月11日	11月16日	0	0
青梅青果市場	10月9日	11月13日	0	0
八王子北野市場	10月10日	11月8日	0	0
多摩ニュータウン市場	10月10日	11月8日	0	0
国立市場	10月9日	11月8日	0	0
東久留米市場	10月9日	11月13日	0	0
備考：築地市場は閉場に伴い、調査を終了した。				

1 1 月月報 (平成30年12月20日)

1 作物生育概況

(1) 野菜

果菜類 : 施設の果菜類 (トマト、キュウリ、イチゴ) は概ね順調であった。イチゴの一部では芽無しの株が見られた。

葉根菜類 : コマツナ、ホウレンソウ、ブロッコリーは生育が2週間程度進んだ。ネギ、ダイコン、ハクサイの生育は順調であった。

いも類 : サトイモ、サツマイモは、寒さによる葉の傷みは見られなかった。

2 病害虫の発生概況

(1) 野菜の病害虫

トマト (施設・抑制)

灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
葉かび病・すすかび病	< 少 >	発生は少なかった。
うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
疫病	< 少 >	発生は少なかった。
オンシツコナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
タバココナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
オオタバコガ	< 少 >	発生は少なかった。

キャベツ・ブロッコリー

黒腐病	< やや多 >	発生はやや多かった。
軟腐病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
菌核病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
オオタバコガ	< 少 >	発生は少なかった。
ヨトウガ類	< 少 >	発生は少なかった。

コマツナ

白さび病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

ダイコン・ハクサイ

軟腐病	< やや多 >	発生はやや多かった。
モザイク病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
カブラハバチ	< 少 >	発生は少なかった。

ホウレンソウ

べと病	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
シロオビノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
コナダニ類	< 少 >	発生は少なかった。

ネギ

黒斑病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
さび病	< 少 >	発生は少なかった。
ネギアザミウマ	< 並 >	発生は平年並であった。
ネギハモグリバエ	< 少 >	発生は少なかった。
ネギアブラムシ	< 少 >	発生は少なかった。

イチゴ

うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。

野菜共通の病害虫

ハスモンヨトウ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ヤサイゾウムシ	< 少 >	発生は少なかった。

(2) 花きの病害虫

シクラメン

ホコリダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
--------	-------	-----------

パンジー・ビオラ

灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
-------	-------	-----------

花き共通

灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
タバコガ類	< 少 >	発生は少なかった。

(3) 島しょの病害虫

三宅島：切り葉類でカイガラムシ類の発生が多かった。

八丈島：アシタバでマイマイ類の発生が多かった。

小笠原：トウガラシでコナジラミ類の発生が多かった。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

3 ミバエ類等侵入警戒調査

設置場所	設置日	調査日	誘殺数	
			チチュウカイ ミバエ	ウリミバエ ミカンコミバエ
築地市場	-	-	-	-
大田市場	11月16日	12月17日	0	0
板橋市場	11月16日	12月17日	0	0
淀橋市場	11月16日	12月17日	0	0
北足立青果市場	11月16日	12月17日	0	0
青梅青果市場	11月13日	12月14日	0	0
八王子北野市場	11月8日	12月14日	0	0
多摩ニュータウン市場	11月8日	12月14日	0	0
国立市場	11月8日	12月14日	0	0
東久留米市場	11月13日	12月13日	0	0
備考:築地市場は閉場に伴い、調査を終了した。				

1 2 月 月 報 (平成 3 1 年 1 月 2 3 日)

1 作物生育概況

(1) 野菜

果菜類：施設の果菜類（トマト、イチゴ）は概ね順調であった。

葉根菜類：コマツナ、ハウレンソウ、ダイコン、カブ、ニンジン順調に生育した。

一部でブロッコリーの花蕾の緩みや開花、ダイコンのとう立ちが見られた。

2 病害虫の発生概況

(1) 野菜の病害虫

トマト（施設・促成）

灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
疫病	< 少 >	発生は少なかった。
葉かび病	< 少 >	発生は少なかった。
オンシツコナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
タバココナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

コマツナ

コナガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

ハウレンソウ

コナダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
モモアカアブラムシ	< 少 >	発生は少なかった。

イチゴ（施設）

うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
ナミハダニ	< 少 >	発生は少なかった。

野菜共通の病害虫

ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。
ヤサイゾウムシ	< 少 >	発生は少なかった。

(2) 花きの病害虫

シクラメン

ホコリダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
--------	-------	-----------

花き共通の病害虫

灰色かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

(3) 島しょの病害虫

三宅島：サヤエンドウでうどんこ病の発生が多かった。

八丈島：アシタバでマイマイ類の発生が多かった。また、レモンでハダニ類の発生が多かった。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

1 月月報(平成31年2月15日)

1 作物生育概況

(1) 野菜類

果菜類：施設の果菜類（トマト、イチゴ）は概ね順調であった。

葉根菜類：施設のハウレンソウ、コマツナは順調であった。露地ハウレンソウは乾燥のため生育が停滞していた。ニンジン、ネギは例年に比べ、寒さによる葉の傷みは少なかった。

2 病害虫の発生概況

(1) 野菜の病害虫

トマト（施設）

灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
葉かび病	< 少 >	発生は少なかった。
オンシツコナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
タバココナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

コマツナ（施設）

コナガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

ハウレンソウ

ケナガコナダニ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

イチゴ（施設）

灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

(2) 花きの病害虫

花き共通の病害虫

灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(3) 島しょの病害虫

三宅島：パッションフルーツでアザミウマ類、サヤエンドウでうどんこ病の発生が多かった。

八丈島：レモンでハダニ類の発生が多かった。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

2 月月報(平成31年3月15日)

1 作物生育概況

(1) 野菜類

果菜類：施設の果菜類（トマト、イチゴ）は概ね順調であった。

葉根菜類：ニンジン、ハクサイ、ネギでは、暖冬の影響で例年に比べ葉の傷みは少なかった。ホウレンソウ、コマツナは前半の乾燥により生育は停滞したが、後半は暖かかったため生育は進んだ。

2 病害虫の発生概況

(1) 野菜の病害虫

トマト（施設）

灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
葉かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
オンシツコナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
タバココナジラミ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

コマツナ（施設）

コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

ホウレンソウ（施設、露地トンネル）

べと病	< 少 >	発生は少なかった。
ケナガコナダニ	< 少 >	発生は少なかった。
ハクサイダニ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

イチゴ（施設）

灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(2) 花きの病害虫（施設）

花き共通の病害虫

灰色かび病	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(3) 島しょの病害虫

三宅島：サヤエンドウで立枯病の発生が多かった。

母島：トマトでハモグリバエ類の発生が多かった。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

3 月月報(平成 31 年 4 月 10 日)

1 作物生育概況

(1) 野菜

果菜類 : 半促成・促成トマト、促成イチゴの生育は概ね順調であった。一部の無加温半促成トマトで霜害がみられた。トンネル早熟のスイートコーンの発芽や生育は概ね順調であったが、一部で霜害がみられた。

葉根菜類 : コマツナやハウレンソウは生育が早まり、コマツナではとう立ちが多くみられた。タマネギ、キャベツの生育は順調であった。

2 病虫害の発生概況

(1) 茶樹の病虫害

カンザワハダニ < 少 > 発生は少なかった。

(2) 野菜の病虫害

トマト (施設・促成長期どり)

灰色かび病 < 並 > 発生は平年並であった。

葉かび病 < やや少 > 発生はやや少なかった。

オンシツコナジラミ < 少 > 発生は少なかった。

タバココナジラミ < 少 > 発生は少なかった。

ハモグリバエ類 < 少 > 発生は少なかった。

コマツナ (施設)

コナガ < 少 > 発生は少なかった。

ハモグリバエ類 < 少 > 発生は少なかった。

アブラムシ類 < 少 > 発生は少なかった。

ハウレンソウ (施設、露地トンネル)

べと病 < 少 > 発生は少なかった。

ケナガコナダニ < 少 > 発生は少なかった。

アブラムシ類 < 少 > 発生は少なかった。

ネギ

ネギアブラムシ < 少 > 発生は少なかった。

イチゴ (施設)

灰色かび病 < 並 > 発生は平年並であった。

うどんこ病 < やや少 > 発生はやや少なかった。

ハダニ類 < やや少 > 発生はやや少なかった。

(3) 島しょの病虫害

小笠原 : トマトにおいてマメハモグリバエの発生がやや多かった。

その他の地域では多発生の病虫害は認められなかった。